

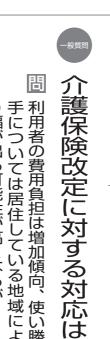


が指導者の確保を早

感じるうえに何より、

に

吉松英喜教育長



地の利を生かし再生可能

 第5次介護保険計画策定時に
り幅が出る可能性が高くなるが
手については居住している地域によ
利用者の費用負担は増加傾向、使い勝 個々の課題を整理する

答

前野由和議員

う、全国一律の基準に基 し、2と認定された場 合事業に移行するか、 か、町が内容を決める総 づく予防給付を受ける 今回の改定で、 要支援

どう対応するつもり Ć 後退、 ことになる。 指摘されているが、 人一人について判断する 財源の壁など問題が 利用者の切り捨 公的介護の 町 は か。

劉密

報酬については、 ている。今後とも町民の をした結果だと受け止め 住民の意見を呈して議論

議論を

岩﨑憲郎町長 現行の議員定数、 議員が 議員

町民の意見を聴取し議員間で議論をどうとらえるか

議員定数の法的上限の撤廃を

地方自治法改正に伴う 基本的な考えは

に積極的に挑戦する職する職員」、「地域の課題線で地域を見、共に行動 を行っている。 を常に目指し適正な人事 ており、住民サー 員」であるべきだと言っ 向上が図られる組織機能 線で地域を見、 つ職員」、「住民と同じ目 -ビスの

療費は、 全国の自治体で と、国民の国保税は1

兆

岩﨑憲郎町長

に、介護保険計画策定委次介護保険計画策定時

岩﨑憲郎町長

て大豊町中学校となっ校と大豊中学校が統合し 大豊中学校には剣道

うだ。他の部は何人かで の生徒が可哀そうに思う 導者がいないのは矛盾を 部として存在するには指 く無理だと説明されたよ 人で練習して その生 そ 急 いるが、 なっている。 導者の確保に努める。 学校ともども精力的に指 大変迷惑をかけて が見つからなく生徒には 師などの指導者を探して る。そのため、 北米へ研修に行ってい 先生は7月から12月まで 現在、剣道部の顧問の なかなか候補者 後任に講

いる姿をよく見かける。

徒だけが1

練習している中、



も相談したが、予算がな て、現在は部員数1人と	受けた。中学校の先生に と共に部員数も減少し	いないだろうかと相談をしかし、生徒数の減少	指導してくれる人は誰か いる。	首 の								る。現在、夏休みに町内(行っている。に負担が掛かり困難であ(ターで合宿を行い交流を的条件から送迎で保護者)して、野市 青少年 センカ所で実施すると、地理)の小学校5年生を対象と			
一人と	減少し	の減少 福島第一原発事故の終		動して 前	55e継 野F	自和		意に		公		ヨ エネレギー	ギ 		質問
		された。また原発マネー	禁文書によって明らかに	たのかが、アメリカの解	軍事的狙いがどこにあっ	る。原発導入の政治的、	状況で困難を極めてい	息は、まだ先が見えない	「厄フ多官ス本言」	小水力発電・風力発電を検討中	具体内収退を目旨さしてするよう。	J エネレギーの也全也肖への	への転換を早急に推進すべきだ	二自た自名ニスノ	京老いう再上可能よ自然にネレ
率は4%と極めて低い。	日本のエネルギー自給	前野由和議員		te,	換が必要であると回答し	自然エネルギーへの転	岩﨑憲郎町長		のか。	る。町長はどう回答した	止が85%と報道されてい	ケートで原発の段階的廃	新聞の県内首長へのアン	も明らかにされた。高知	による利益共同体の実態
ある。	今後調査、検討が必要で	時間が短く問題があり、	電は、山間部であり日照	を行っている。太陽光発	し、事業化に向けて検討	によって風力調査を実施	風力発電は、すでに企業	能な3カ所を調査した。	本町での小水力発電が可	振興・環境部」において、	高知県企業局や「林業	岩﨑憲郎町長		を具体的に推進せよ。	な自然エネルギーの活用

6

議会だより 劉密